

退職にあたって



一般教科 北川 誠之助

高専に着任したのは昭和47年、小柳ルミ子が「瀬戸の花嫁」で“愛があるから大丈夫”と歌い、南沙織がミニスカートで颯爽とデビューしました。漫画では、「花の応援団」“役者やのう”が大流行、それから38年島には若者が居なくなり、都会では仕事に忙しく男女の出会い機会も少なく、結婚するのも大変な時代となりました。南沙織は沖縄育ちで違和感はないけれど、奈良のこの寒さであんなにスカートを上げてどうするの、見ている方

が寒い。寮もパンカラで、漬け物だけでどんぶり何杯食べられるのか競争していました。今や食堂では、注文するご飯はMやS、小生はご飯の大を頼むのに気後れします。

病気で周囲に迷惑をかけることなく、「無事これ名馬」で自分を褒めています。丈夫に生んでくれた両親、愉快に過ごさせてもらった学生に感謝して終わりたいと思います。



一般教科 堀内 泰男

1977年8月、9月にNASAは惑星探査機「ボイジャー」2号機、1号機を相次いで打ち上げました。2年後に木星へ、その後土星、天王星、海王星に接近しその姿を伝えてくれました。現在、2機の探査機はそれぞれ太陽系の果てを航行中で、1号機は間もなく太陽系を脱出する見込みで、なお情報収集を続けています。驚きです。

私が奈良高専に着任したのは、ボイジャー打ち上げから11年後で海王星を通過中の頃でした。それから23年の間、このようなロマンを語りながら楽しく物理を教えて来れたことを嬉しく思っています。授業していて学生諸

君の目がキラッと輝くときが私にとって喜びを感じる瞬間です。このような経験を沢山くれました。また、学級担任、クラブ顧問、学寮、科学の祭典などの仕事で学生諸君と共に過ごした思い出は沢山あります。そのどれもが私の宝物になっています。

私が今日在るのは、学生諸君や教職員、OBの皆さんに助けられて来たからだに深く感謝しています。有り難うございました。昨年は7年ぶりに帰還した「はやぶさ」の快挙が話題になりました。学生諸君には、「何事もあきらめない」という気持ちを忘れずに頑張ってくださいように願っています。



情報工学科 世古 忠

私は1972年4月に着任し電気工学科で16年間、情報工学科で23年間勤務し、2011年3月末日をもって定年退職することになりました。

今思えば私の着任当時はマイクロプロセッサ時代の幕開けでした。幸いにも私が所属した大阪大学基礎工学部の嵩忠雄研究室は、情報工学分野で世界のトップレベルにあり、そこで学んだ知識を奈良高専学生の教育・研究に大いに生かすことができました。TK80上でFFTを開発したり、ラッピング配線で作成したZ80マイコンシステムにCP/Mを搭載しました。授業では一早くC言語やUNIX、Yaccを用いたコンパイラ的设计法などを取り上げました。また、日本UNIXユーザ会関西支部の設

立に参加し、シャープ奈良工場経由でインターネットに接続しました。本校にクラスCのIPアドレスが多く割当てられているのは、この歴史があるからです。本校学生は特に技術的関心が高く、学生と一緒に開発に取り組めたことは望外の幸せでした。情報工学科設立後、専攻科が設置され同時期に奈良先端科学技術大学院大学が設置され、初代情報科学研究科長に恩師の嵩先生が就任され、専攻科修士生の受入れでお世話になり、良い評価を得たことは誠に幸いでありました。

最後に、奈良高専の卒業生、在校生、教職員の皆様に心から御礼申し上げます。



情報工学科 近藤 勝也

私は大学院（修士）を修了して26年間鉄鋼メーカーに勤めた後、1996年4月に情報工学科に着任し再雇用の2年間を含めて15年間勤務をしました。それまで教壇に立った経験はほとんど有りませんでした。製造業の技術開発を通して得た経験や知識・技術を伝えたいとの思いで教員生活をスタートしました。

会社員時代の目標は技術開発やその実用化でしたが、教員の目標は教育・研究・学校生活などにおける学生の指導なので、その違いに戸惑いを感じざるを得ま

せんでした。しかしやってみると、仕事に真剣に取り組むと取り組んだだけの反応や成果が返って来ることを知りまし、教えるための勉強で一番理解できるのは自分自身であるということもよく分かりました。終わってみると、今後の私の人生に役に立つであろう貴重な経験を多く積み重ねてもらったことでも、満足できる教員生活であったことに感謝しています。最後に、本校のますますの発展を願って挨拶とさせていただきます。



物質化学工学科 河越 幹男

—奈良はまほろば—

「倭は国のまほろば たたなづく 青垣 山隠れる 倭しうるわし」と詠まれた通り、奈良は素晴らしい所でした。この素晴らしい立地条件に恵まれた奈良高専で38年間の永きにわたり、学生の教育と研究に勤むことが出来たのは望外の幸せでした。朝夕、唐招提寺、薬師寺、垂仁天皇陵などの歴史的遺産を見ながら通勤できたのも、古都ならではのことで有り難く思っています。

大学院を出てすぐに本校に着任しました。勤め始めた頃、寮に宿直で泊まったときに来寮された保護者の方から、「なんだ、先生か」と学生に間違われたことを今でも

懐かしく思い出します。まだ学生の雰囲気は漂わせていたのでしょうか。あれから38年、長いようでも、終わってみれば、あっという間でした。研究室に卒研生として来て戴いた学生たちと一緒に研究できたことも楽しい思い出です。いくつかの研究成果も出すことができました。また、カナダのWaterloo大学に博士研究員として1年間留学できたことも貴重な体験でした。

お世話になりました奈良高専が、今後とも特色ある高等教育機関としてますます発展することを祈りしています。長い間、ありがとうございました。